

高同窓会だより

第43号

卒業生総数 29,833人

本巣中学校 2,571人

本巣高等女学校 2,592人

高等学校 24,670人

編集・発行／岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会事務局
〒501-0407 岐阜県本巣市仏生寺859-1 TEL (058) 324-1201 FAX (058) 323-0651

紡がれた45年、30年、10年 そして創立100周年へと

同窓会長 中島洋晃 (昭36年卒)



た。学年代表理事の鶴見亮斗さんから、「同窓会員としての自覚と、母校のさらなる発展のためにつとめます」と、力強い言葉をいただいた。

母校は、県下に名高き松樹輝く緑の学園として、大正9（1920）年、旧制本巣中学校が創立され、卒業生総数は29,833名を数え、創立以来94年間の歴史を刻んできた。この長い歴史の中で、旧制本巣中学を卒業された故加藤利一氏（昭3年卒）により寄付された高額の資金を貴重な原資として、公益財団法人「加藤記念奨学会」が設立され、将来有為な人材育成を図るため、奨学金助成及び諸分野の研究助成に関する事業が行われてきた。

加藤利一氏の後輩への思いは篤く、「自分の意見を発信する力を磨くこと」に格別注力された。特に「文章で表現する力の育成・向上」の具現化のため

平成27年2月27日、新たに276名の皆様が同窓会に入会されました。昭和45年度に「群鶴」論文コンクールを発足させ、課題テーマについて、自らの考えや意見を小論文として発表することになった。小論文は校内の選考委員会で選ばれ、優秀作品を論文集『群鶴』にまとめ、全校生徒に配付されている。

2月16日には、加藤記念奨学会理事が開催され、その席上に置かれた冊子が、2月に発行された『群鶴』第45号であった。そこには、26年度論文課題「日本を取り巻く諸問題から」とあり、優秀作品が掲載されていた。

テーマの切り口は、「いのち」「戦争」「差別」「ゴミ」「犯罪」「スマホ」など、さまざまな角度から論述され、世相評論ではなく、自らの行動目標も掲げている内容の濃さに、「さすが母校の後輩である。加藤利一氏の願いに見事に応えている」と感銘を受け、嬉しくなった。

同窓会入会式の当日、校長室にて豊田文秀校長先生から、在校生の学校生活について、様々な様子を拝聴した。とりわけ、「生徒の自主的活動」につ

いて話題が及び、生徒会企画「大縄大会」を開催したとのことであった。「失敗しても良い。まずはやってみよう」の提言から生まれた行事であるが、「生徒たちは見事に達成させてくれた」との言葉を聞き、後輩の意欲と積極的な姿勢のたくましさを感じた。また、私事ではあるが、母校で教鞭を執り、生徒会係を担当した時に創刊した生徒会誌『銀杏』をいただき、爾来、第30号と継続されてきたことを目の当たりにし、嬉しさやなつかしさが倍增した。

岐阜県による平成の教育改革により、本巣高校と岐陽高校が統合され、全日制普通科単位制の本巣松陽高校として校名が変わり、平成26年度は10年が経過した母校でもある。やがて、創立100周年の歴史的な節目を迎える中、歴代の校長先生や諸先生の訓導を受けた在校生により、歴史の糸が着実に太く長く紡がれていること、ありがたさを、しみじみと痛感した。

終わりに、母校創立100周年記念事業等の計画および実施に向け、すべての同窓生の皆様に格別のご支援やご参画を伏してお願ひ申し上げます。



本部総会・懇親会

木野村 大二郎 (昭59年卒)

平成26年度岐阜県立本巣松陽高等学校同窓会本部総会・懇親会が、8月9日(土)、グランヴェール岐山で、当番学年(昭59年卒)から69名が参加し、総勢109名で盛大に開催されました。



▲総会前に集合写真撮影

総会

西尾侑一常任理事(平16年卒)の司会進行で開始されました。遠山信義副会長(昭40年卒)の開会の辞に引き続き、事業報告や決算報告といった各議事が滞りなく協議されました。また、中島洋晃会長(昭36年卒)と豊田文秀名誉会長(学校長)にご

挨拶をいただき、母校の現状を知ることができました。そして、天野知子副会長(昭52年卒)の開会の辞で閉じられました。

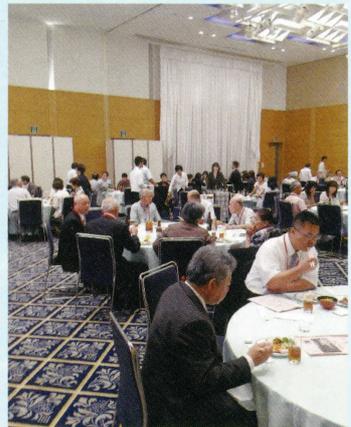
懇親会

総会終了後に雅楽演奏(催馬楽の席田)があり、懇親会が開かれました。会は木野村大二郎、高橋律子による司会進行、恒川一志の開会の辞で開始しました。恩師を代表して、高見純教先生よりご挨拶をいただき、木野村大二郎による乾杯で会食が開始しました。

当日参加いただいた恩師は、担任より、高見純教先生、後藤正紀先生。また、今年度は担任に限らず、広く当時の先生方にお声がけし、窪田範男先生、大野昭義先生、大脇尚爾先生、服部長務先生、田中輝夫先生にご出席いただきました。食事の間には、杉山肇編集による、当時流行したポップスによるBGM、そして、恒川一志編集による、卒業アルバムからのスライドショーで、一気に30年前に時計を巻き戻し、時の経過を忘れ、皆、再会を喜びました。懇親会はあつという間に時が過ぎ、当時、応援団だった松浦徹のエンルと掛け声に先導を受け、校歌を全員で大合唱し、松原稔の開会の辞で、一旦終了しました。

引き続き同会場では、当番学年懇親会が行われました。こちらの懇親会では、恩師の皆様からご挨拶をいただき、30年を経た今だからこそ同

懇親会の様子



える、貴重かつユニークなお話が聞けました。参加者全員、在学当時に戻り、18歳の思い出話に花が咲きました。

各クラス代表には、忙しい中、時間・手間を割いていただき、感謝しています。同様に、廣瀬先生をはじめ、事務局の先生方、大変ありがとうございました。

平成32(2020)年に、本校は創立100周年を迎えます。その年は、同学年の者だけでなく、あの憧

れだった先輩、可愛がってやったあの後輩に会える機会にしましょう。今から楽しみにしめていきます。



▲雅楽演奏(催馬楽「席田」)

関東支部

支部長 田口 勉 (昭40年卒)

平成26年度関東支部総会・懇親会を、4月20日午前11時30分からアルカディア市ヶ谷(私学会館)で開催し、本部からは豊田文秀学校長、天野知子同窓会副会長(昭52年卒)、西尾侑一常任理事(平16年卒)、廣瀬勝己事務局長(昭52年卒)に来賓として出席を賜りました。総会には76名の参加を頂き、開催に先立ち、昨年4月から今年3月までにご逝去されました会員3名の方々のご冥福を祈り、黙祷を捧げました。総会は田口学氏(昭46年卒)の司会進行で始まり、福田英明支部長(昭31年卒)の挨拶、来賓の方々の祝辞、平成25年度の事業報告及び会計報告に続いて、今回は役員の改選が行われ、支部長に田口勉、副支部長に4名、吉田彰氏(昭41年卒)、内藤修氏(昭43年卒)、高橋礼子氏(昭43年卒)、田口学氏が就任となりました。その後、昨年に引き続き、内藤修氏に「如来の光と生態系のことなど...」の演題で講演を頂きました。

午後1時より懇親会が、吉田彰氏(昭41年卒)の司会進行役で、高橋渉氏(昭19年卒)の乾杯により開催となりました。例年通り、卒業年別に設定した各テーブルでの懇親会でありましたが、時間が経つと共に、多くの方々が各テーブルを歩き来し

▶総会



▶懇親会



て和気あいあいの場となり、昔話に花を咲かせていました。今回、初参加を頂きました方の紹介と挨拶を頂き、その後、恒例になりました学年別記念写真撮影（後日、参加会員に送付）を行い、続いて全員でのビンゴゲームでは、会場も大いに盛り上がりました。その後、全員で校歌を斉唱し、次回総会への多数の参加の呼びかけをお願いして、日比野英一氏（昭30年卒）の閉会の挨拶で散会となりました。

一昨年から実施いたしました関東支部運営での年会費について、今回も総会開催の案内状送付時に、年会費のご協力を頂くため、振替払込用紙を同封しお願いいたしましたところ、45名の会員の方から年会費と多額の寄与金を頂戴致しました。ご協力頂きました皆様に、幹事一同心より感謝申し上げます。又、一昨年に続き、奥長良川名水榭代表取締役社長の中村隆春氏（昭41年卒・岐阜在住）のご参加を頂き、「高賀の森水」

の名水を多数贈呈頂きました。心より御礼申し上げます。

今回の役員改選により、各役員に就任致しました我々は、戦後生まれの若輩者であります。この関東支部が未永く存続できるよう邁進して参ります。

平成27年度 関東支部 総会・懇親会

◎平成27年4月19日（日）
午前11時30分～
アルカディア市ヶ谷（私学会館）
（JR・地下鉄市ヶ谷駅徒歩2分）

支部長 高坂 英夫
（昭35年卒）

名古屋支部

北陸新幹線が開通して、東京在住の北陸出身者にとっては故郷が近くなり、大変便利になりました。「故郷は遠きにありて思うもの／そして悲しくうたうもの」と、金沢出身の室生犀星の詩があります。その時代が懐かしく思われます。

I Tの時代になり、隣にいても言葉を交わさず、メールでやり取り。また地下鉄に乗っても、若い人のほとんどがスマートフォンに夢中になっています。ホームの中でも、歩きながらスマートフォンと戯れています。駅員から、危ないから歩きながらのスマートフォンは止めてくだ

今年度当番学年より

当番学年幹事 若原 義弘
（昭60年卒）

来る8月8日（土）に開催されます本年度の総会・懇親会は、昭和60年卒業の私たちが当番年です。卒業した昭和60年を調べてみます

平成27年度 名古屋支部 総会・懇親会

◎平成27年6月6日（土）
午前11時～
キャッスルプラザ
（愛知県名古屋市・名駅）

さいとのアナウンスが流れます。私も故郷を出て50数年が経過しますが、今は1時間あまりで本巢市に帰れます。ずいぶん近くなりました。そんな時代に本巢高等学校の同窓会を開催するのですが、人が集まりません。私は3回参加し、先回り支部長を引き受けることになりましたが、700余名に案内を出して、回答率50%、参加者は5%ほどです。

どんな会も、帰属意識が薄れてきました。特に同窓会、県人会等、故郷に近いほど、集まりが悪い気がします。便利になりすぎ、郷愁を感じなくなってきたのだと思います。

6月6日（土）、キャッスルプラザで開催します。多数の参加を望みます。

平成27年度 本部 総会・懇親会

◎平成27年8月8日（土）
午前11時～
ホテルグランヴェール岐山
（岐阜市・西柳ヶ瀬）

その後、大学進学、就職、結婚、子育てと、多くのことを経験してきました。振り返ってみると、長かったような気もしますし、あつという間、だったような気もします。

総会・懇親会では、30年ぶりに顔を合わす人もいると思えます。一緒に楽しい時間を過ごしましょう。



ようこそ! 276 名の新会員

平成 27 年 3 月 1 日、母校体育館において、平成 26 年度卒業証書授与式が挙行されました。それに先立ち、2 月 27 日には、同窓会入会式が同体育館にて行われ、中島洋晃会長、遠山信義副会長が出席する中、276 名が新規同窓会員として加入しました。学年理事の 8 名を代表して、鶴見亮斗さんに、会長から委嘱状が授与されました。

- 平成 27 年 3 月卒業 新学年理事
- ◎は学年代表、○は学年副代表
- 梅本 巧
 - 杉山 優衣
 - 白木 宏明
 - 帖佐百合野
 - 塩谷 千夏
 - ◎鶴見 亮斗
 - 武部 美紀
 - 寺地 絢良



▶卒業式の様子

頑張ってます 同窓生

御菓子司 柏鳥堂

鳥本豊和 (昭 47 年卒)
鳥本和広 (平 16 年卒)

揖斐郡大野町黒野にある御菓子司「柏鳥堂」。昭和元年創業で、90 年の歴史がある和菓子屋である。

第 3 代目にあたる鳥本豊和氏は、母校普通科卒業後、東京製菓学校に進み、東京・横浜・岐阜で修業を積んだ後、実家に戻ってきた。「秋、銀杏の実が落ちると、掃除しがてら実を拾った。松の芽摘みもした」と、高校時代の思い出を振り返る。今は新店舗を出したばかりで大忙し。「新しく店を出すことが夢だった。この続きは子供に任せる」と、今後について語る。

店主の次男である和広氏も、父と同様、母校普通科卒業後は東京の日本菓子専門学校に進学し、東京・長野で修業した後、実家に戻ってきた。「野球部に所属してピッチャーを務めたこと、虫賀文人先生の先導の下、銀杏祭で劇を行った」などと、本高での懐かしい思い出を語る。高校で学んだことは、野球部の仲間を中心とした、友達のつながりの大切さだという。もちろん、今でも高校時代の友人との関係を大事にしている。「父の夢であった新店舗の出店。それらを自分たちが守っていかなければ」と、今後を語る。

「同町中之元」に新店舗を開店した。気軽に立ち寄ってほしい。本高同窓生なら思い出すであろう、名鉄電車を箱にデザインした『黒野ラスク』もある」と PR する。



寄附金納入者芳名

(平成 26 年度、1 口 1,000 円、敬称略)

* * ありがとうございます *

若原 忠義 (昭 17 年卒)	22
栗本 和幸 (昭 32 年卒)	7
鷺見 悦子 (昭 42 年卒)	2
井上 三男 (昭 22 年卒)	2
赤塚 賀彦 (昭 43 年卒)	10
赤田 弘行 (昭 53 年卒)	2
高坂 英夫 (昭 35 年卒)	10
大野 昭義 (昭 63 年卒)	2
中島 洋晃 (昭 36 年卒)	10
田口 勉 (昭 40 年卒)	12
神谷 保夫 (昭 41 年卒)	10
福田 准子 (昭 34 年卒)	10
浅井 幸治 (昭 50 年卒)	3
長屋 秀眼 (昭 7 年卒)	2
西尾 侑一 (平 16 年卒)	2
窪田 範男 (恩師)	2
昭和 4059 年卒業生 (31 名)	46
昭和 4059 年卒業生 (1 名)	2
* 皆様のご協力をお願いします *	

平成 26 年度 部活動等の成果

(一部のみ掲載、詳細は母校 HP 参照)

●バレーボール部

第 67 回全日本バレーボール高等学校選手権大会岐阜県代表決定戦 ベスト 16

●ソフトボール部

平成 26 年度岐阜県高等学校新人バレーボール大会 ベスト 16

●ソフトボール部

岐阜県高校総合体育大会兼東海高校総合体育大会岐阜県予選大会 第 3 位

●ラグビー部

第 22 回岐阜県高等学校ソフトボール選手権大会兼第 58 回中日本ソフトボール選手権大会岐阜県予選大会 準優勝

第 10 回全国高等学校合同チームラ

グビーフットボール大会 U-18 東海ブロック代表

青木 亮介・金森 一朗

●バドミントン部

岐阜県高等学校新人バドミントン大会 女子団体 ベスト 8

ヨネックス・ワコー杯 女子団体 第 3 位

●陸上競技部

第 43 回岐阜県高等学校新人陸上競技対校選手権大会

女子 やり投 第 5 位 平山菜々子

円盤投 第 7 位 東海大会出場

平山菜々子 東海大会出場

平山菜々子 東海大会出場

●書道部

第 13 回岐阜女子大学全国書道展 奨励賞 戸本 好美

岐阜県高等学校総合文化祭書道展 特賞 箕浦 実央

個人作品部門 優秀賞 宇野 恵

●美術部

岐阜県高等学校総合文化祭 優秀賞

山瀬 紗南・帖佐百合野

●箏曲部

第 83 回岐阜県高等学校連合音楽会 器楽部門 金賞

第 32 回岐阜県高等学校ギター・マンドリン・邦楽合奏コンクール 優秀賞

本号よりリニューアル!

本号よりカラー版にし、見やすさと読みやすさの向上を図りました。今まで以上にわかりやすい紙面になるよう努めていきます。本高同窓会に関する情報がありましたら、事務局までご提供ください。